24 ヘナタリ　（キバウミニナ科）　兵庫県ランク：A

Cerithidea cingulata　環境省ランク：NT

種の概要

房総半島・北長門海岸から南西諸島に分布し、淡水の影響する内湾奥部の砂泥干潟に生息する。殻長20～30mmほどで、外観は輪郭が直線的な細高い円錐形。体層の右には太く張り出した縦張肋があり、全面は平坦になる。外唇はよく広がり、下(底)端は水管溝を越えて伸長する。殻色は黄褐色の地色と3～4本の黒線を螺肋溝に巡らす。蓋は丸い角質でこげ茶色。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
○	○		○	○			○

県内分布

高砂市、姫路市、相生市、たつの市、赤穂市、洲本市、南あわじ市

県内における生息状況及びその他特記事項

ランク変更なし。淡路島では2006年に中部の内湾干潟で生息が確認され、2013年には南部でも生息が確認された。いずれの産地も生息範囲が狭く、個体数も非常に少ない。播磨西部でもわずかに生貝が記録されていたが、現状では死貝のみで生息は確認できていない。播磨東部では加古川で死貝を確認しているのみである。

保護上の留意点

本種の生息可能な干潟は数あるが、既知産地が限られていることにおいては要求される微環境が既知産地にしかないことにあるので、現状では既知産地の保全にほかならない。また、播磨西部では今後の復帰も考慮して現状以上の干潟の環境悪化や消失をさせないことに努める。

写真提供：川渕千尋

写真提供：川渕千尋

【執筆者】　川渕千尋